

会 議 録

1 会議名

平成30年度第6回津有区地域協議会

2 協議事項（公開・非公開の別）

・地域活動支援事業（追加募集分）について（公開）

①ヒアリング

②審査・採択

3 開催日時

平成30年10月15日（月）午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：江平幸雄、太田政雄、塩坪貞雄（副会長）、清水昇一、中嶋博、服部香代子、古川昭作、保坂和彦、丸山常夫、宮越隆一、山管節子、吉崎則夫（会長）、渡部稔（欠席1人）

・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告

【吉崎会長】

・挨拶

【田中主事】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務める

ことを報告

【吉崎会長】

- ・会議録の確認者：江平委員

次第3 議題 (1)「ヒアリング」に入る。本日の進め方も含めて、事務局より説明を求める。

【田中主事】

- ・資料1、当日配布資料に基づき説明

【吉崎会長】

今ほどの説明に質問のある委員の発言を求める。

(発言なし)

ヒアリング中の進行は当初募集と同様に事務局にお願いする。

【田中主事】

ヒアリング中の進行を務める。

- ・「津-追1 地域音楽鑑賞会の開催事業」の概要説明

【津-追1 提案者】

- ・事業説明

【田中主事】

「津-追1」について質疑を求める。

【塩坪副会長】

地域住民の参加は、保護者も合わせて20人ということか。

【津-追1 提案者】

地域の方からは20人の参加があり、その中には保護者や町内会長も含まれている。終了後に参加者の感想を聞いたところ、今回は音楽であったが、このような文化活動を定期的で開催してほしいとの声があった。

【塩坪副会長】

定期的で開催するにあたり、参加者が20人では補助金を出す立場としては効果が低いように感じるため、何か方策を考えなければいけないように思う。これらを含めて、今後はどのような形で開催する予定か。

【津-追1 提案者】

言い訳のようになってしまいが補助事業の提案時期の問題もあり、各町内会に告知

チラシを配布するタイミングが提案日より早いと補助対象経費とならないため、提案日以降に町内会を通じて周知した経緯がある。そのため、周知不足があったと考え反省している。逆に開催時期がもう少し遅ければ、期間的な余裕をもってPRできたと自覚している。

【太田委員】

収支計画を見ると印刷費でチラシを1,000枚作成している。団体の構成員数で世帯数が795世帯であり800枚程度で十分に思うが、なぜ1,000枚なのか。

【津-追1提案者】

近隣の小学校にも声掛けをしたいと考えた。諏訪小学校と上雲寺小学校にも声掛けを行い、時間が取れるならば参加してほしいと思ったため、その分を含めた枚数である。

【江平委員】

参加者より感想をもらったとの話があったが、反響や評価を教えて欲しい。

【津-追1提案者】

終了後に参加者にアンケートを取り、その場で提出できずに後日小学校に提出した人もいた。先ほど話したような感想が寄せられた。また小学生の感想については、児童代表がその場で発表した。大人については、年に一度程度は聞きたいという感想や音楽の内容についての意見もあった。当日はハンガリー舞曲や剣の舞のようなクラシックから始まり、ホテルの光や仰げば尊しの演奏があった。その他に、今どきのリズムに乗るような曲もあったため、子供達も楽しんでいた。地域の参加者からはホテルの光や仰げば尊しが好評であった。

【吉崎会長】

質問ではないが、今後は定期的な開催を検討しているとの話があった。地域住民からの参加も求めるのであれば、参加しやすいよう開催日時の検討をお願いします。

【津-追1提案者】

今回の反省点であるが、土日や休日に開催してほしいとの意見もあった。今回は平日の開催であったため、参加対象者が児童だけだと思った地域住民もいたと考えている。そのため、今後は参加者の都合等も考慮して開催日時を検討したい。

【田中主事】

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

・「津-追2 上雲寺中村公園環境整備事業」の概要説明

【津-追2 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「津-追2」について質疑を求める。

【保坂委員】

中村公園の管理は上雲寺小学校最寄会や同窓会となっているが、公園自体は市の物と言う訳ではないのか。

【津-追2 提案者】

調べた結果、公園自体は小学校の所有とのことであった。しかし、公園の管理については昔から上雲寺小学校最寄会・同窓会・PTA・子供会が行っている。毎年7月の下旬にこれらの団体が集まり、草取りや木の剪定等を行っている。また、小学校の隣のお寺に初代校長である中村先生のお墓があるため、最寄会や同窓会が中心となって墓参りを行っている。

【保坂委員】

提案書の事前協議先に教育総務課とあるが、どのような回答であったのか。

【田中主事】

事前照会した内容については、事務局からの当日配布資料に担当課の回答が記載されているとおりであります。

【保坂委員】

自分たちでの確認ではなかったのか。

【田中主事】

事前協議については、事業を実施する上で、法令上の支障や補助金の重複等がないかを事務局から担当課に確認したものである。

【吉崎会長】

現在のポールは昭和38年に設置との説明があったが、素材は鉄か。

【津-追2 提案者】

素材は鉄である。

【吉崎会長】

かなりの年数が経っているため、サビ等で折れる心配はないのか。

【津-追2 提案者】

確認したところ、根本等は大丈夫であった。ペンキは2回程塗り替えている様である。当初はアルミ製のポール等も検討したが高額であった。そのため、ポールの状態自体は悪くないためペンキを塗り替えることとした。

【吉崎会長】

このポールは学校行事等で実際に使用しているものか。

【津-追2 提案者】

学校行事や区民行事がある際に国旗を掲揚している。

【田中主事】

他に質問はあるか。

(発言なし)

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

・「津-追3 平成30年度 津有北部地区スポーツクラブ地域活性化事業」の概要説明

【津-追3 提案者】

・事業説明

【田中主事】

「津-追3」について質疑を求める。

【塩坪副会長】

今月の14日にグランドゴルフの大会を行ったが、何名ほどの参加があったのか。

【津-追3 提案者】

70人強の参加があった。60人程度の参加を見込んでいたが、予想を超える参加であった。子供達の参加も多く、役員も競技への参加を予定していたが、スコア係等に回る事となった。昨日は晴れたためグランドゴルフを実施できたが、雨天の場合はスマイルゲートボーリングを予定していた。現在、11月18日の綱引き大会に向けて毎週木曜日に雄志中学校にて練習を行っているため、スマイルゲートボーリングをいつ実施するのかは日程を調整中である。毎年1月の第3日曜日に津有北部地区で冬季運動会を行っているが、運動会終了後にスマイルゲートボーリングの講習と協議体験を考えている。また老人会で輪投げを行っているが、毎回同じで退屈しているとの話も

聞いている。そのため老人会にも競技を紹介し、今後は活用してもらおう予定である。昨日のグランドゴルフ大会の冠名が TST 杯である。T は津有区、S は諏訪区、T は高士区を表している。津有南部にこれらを案内した際は、代表町内会長に依頼した。南部と北部で津有区であるため、今後も南部からの参加を求めていく。

【塩坪副会長】

購入する場合、年間で何回開催するか等の予定を立ててほしいと考えている。また、購入しても雨天の場合のみの道具としても問題がある。予定を立てて月 1 回程度の実施をお願いしたい。

【津-追 3 提案者】

来年度については、貸出も含めた予定を総会の事業内容に取り込む予定でいる。また、今年度についても冬季運動会や老人会での活用を検討している。

【吉崎会長】

昨日は、グランドゴルフを実施し、雨天時はスマイルゲートボーリングを予定していたとあるが、すでに用具は購入しているのか。

【津-追 3 提案者】

借り物である。

【田中主事】

以上で、ヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

全ての事業のヒアリングが終了したため、進行を会長に返す。

【吉崎会長】

これより各自最終の採点を行い、終わった採点票から事務局が順次回収する。全ての採点が終了した委員より休憩に入る。採点結果がまとまり次第、会議を再開する。

— 休憩 —

【吉崎会長】

集計が終了したため会議を再開する。

次第 3 「議題 (2) 審査・採択」に入る。採点結果はスクリーンに表示されておりである。予算額 235 万 7 千円に対し提案額が 72 万 4 千円と予算内に収まっている。

そのため、不採択もしくは減額採択とするには誰もが納得できる相応の理由が必要となる。

初めに、不採択とする事業についてである。不採択とする事業について意見のある委員は挙手の上発言願う。

【塩坪副会長】

どのように不採択事業について発言すれば良いか。

【田中主事】

事務局から補足する。基本審査では、過半数以上の委員が基本審査を不適合とした場合は自動的に不採択となる。また、共通審査基準の平均点が2点以下、もしくは優先採択方針を不適合とした委員が過半数以上の場合は、評価の低い事業となるが、これらに該当する事業はないことを報告する。また、基本審査で不適合が付いた事業が2事業あり、不適合とする理由として「津-追1」は、「後援会については考えておく必要がある。実施する場合は出てきた後援会に対して全部採択するか、×にするか」との意見である。「津-追3」は、「平成29年度のセパタクローは不採択とした。新規の場合、何年続くか分からないので軌道にのったら考える。今後のことを考えると統一意見を考えておく」との意見が出た。また、今年度から基本審査を不適合としたものについては、全ての共通審査基準を0点として扱い、採点した委員の平均点で順位をつけている。

【吉崎会長】

基本審査では過半数の委員が○を付けている。また、優先採択方針では全ての協議会委員が○を付けている。そのため不採択とすべき事業はないと考えているが、不採択とする事業はなしとして良いか。

(よしの声)

全ての事業を採択とする。

次に、補助額の決定を行う。減額採択とする事業について意見のある委員の発言を求める。

【塩坪副会長】

自分が予想していたよりも全体的に点数が低かった。

【吉崎会長】

基本審査で×を付けた委員分は点数が引かれているため、その分点数が低くなっている。採点が一番高い1位の事業は「津-追3」であり19.5点である。2位が「津-追2」18.8点、3位が「津-追1」となっている。点数的にはそれほど差はなく、1位と3

位の差は1.1点となっている。減額採択について意見はあるか。

(意見なし)

では、採決を取る。全ての事業について、提案額どおり採択することに賛成の委員は挙手願う。

(11人挙手)

賛成多数のため全ての事業を提案額どおり採択とする。

次に、採択の条件である附帯意見について、意見のある委員の発言を求める。

【太田委員】

「津-追1」は参加者が20人程度ととても少なかった。津有区全部の小学校にチラシを配布し、参加できるようにすれば、参加者が増えたと思う。そのため、チラシを配布する等の意見を附してはどうかと考える。

【吉崎会長】

他に意見はあるか。

【塩坪副会長】

やはり土日の開催でなければ参加者は増えないと考える。上雲寺小学校も平日に開催するため、町内会長しか参加しない。各小学校区で講演会を開催するのであれば、今後も課題になってくると思う。また、今後は他の学校からも講演会を実施するための提案が出てくることが考えられるため、線引きのようなものを考えておかなければいけないと思う。上雲寺小学校の話を知ると、講演会の内容は良いが父兄や地域住民等の大人の参加者が少ないと聞いている。今回の「津-追1」の20人の参加者についても、20人のうちの何人が町内会長であったかも気になる。今後も補助金を出すのであれば、何か考えなければいけないと思う。

【吉崎会長】

どのような意見を付けるか。

【塩坪副会長】

「土日に開催してほしい」を附帯意見とし、あとは今後の課題としたい。

【吉崎会長】

「多くの人が集まれる日程を考慮してほしい」ということでよいか。

【田中主事】

附帯意見とは、採択にあたっての条件である。「津-追1」の事業は既に実施してい

るため、附帯意見ではなく参考意見として伝える形になる。

【吉崎会長】

他に意見はあるか。

【塩坪副会長】

「津-追1」は事前着手と言う形で申請された。この様な提案は今後どうなるのか。

【田中主事】

提案日以降であれば事業の着手は認められており、制度上は問題ない。

【吉崎会長】

他に意見はあるか。

(意見なし)

意見がないため、全ての事業に対して意見は付けないこととして良いか。

(よしの声)

以上で次第3議題(2)「審査・採択」を終了する。

次に、次第4「その他」、次回の開催日について事務局に説明を求める。

— 日程調整 —

・次回の協議会：11月21日(水)午後6時30分から 津有地区公民館

その他、事務局より何かあるか。

【田中主事】

事務局から例年開催している雄志中学校生徒との意見交換会について報告する。今年度については、雄志中学校区の津有区・諏訪区・高土区の3区全てが地域活動支援事業の追加募集を行っているため、追加募集の審査等により、10月のスケジュールが埋まっている。また、各区では自主的審議のテーマが決まっており、課題集約は完了している。雄志中学校の生徒は主に3年生が参加しているが、秋以降は受験等で多忙となるため時間が取れないと聞いている。それらを踏まえて各区の地域協議会長に相談し、今年度の意見交換会は見送ることとした。また、3区合同の意見交換会については、各区の要望があれば事務局で日程の調整が可能のため、各区の意向を確認し、実施時期等を検討していく。

【吉崎会長】

今ほどの事務局の説明の中で、各区では自主的審議のテーマが決まっているとの話があったが、今年度は追加募集や市からの地域活動支援事業の見直しの検討があり、2

回分の協議会が潰れている。今後どこかで埋め合わせをしていかなければいけないと考えているため、地域協議会の実施が月に2回となる場合があることをご了承いただきたい。他に何かあるか。

【塩坪副会長】

当初募集で採択された事業は全て終わったのか。

【田中主事】

当初募集で採択された事業については、それぞれの実施スケジュールに基づいて進めている。津有区に関しては平成31年3月が終期の事業が多いため、今のところ実績報告書が提出されている事業はない。

【吉崎会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。